

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 1 月 18 日(2022.1.18)

【公開番号】特開 2020-127457(P2020-127457A)
【公開日】令和 2 年 8 月 27 日(2020.8.27)
【年通号数】公開・登録公報 2020-034
【出願番号】特願 2019-20291(P2019-20291)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 1 月 7 日(2022.1.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 1
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 1】

20

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 4】

ところで、変動表示ゲームについて興趣向上の余地がある。

30

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 5】

本発明は、遊技の興趣向上を目的とする。

【手続補正 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 6】

40

本発明の代表的な一形態では、第 1 始動領域又は第 2 始動領域への遊技球の入球に基づいて、変動表示ゲームを表示装置に表示可能な演出制御手段を備えた遊技機において、前記演出制御手段は、前記第 1 始動領域への遊技球の入球に基づいて第 1 変動表示ゲームを実行可能であり、前記第 2 始動領域への遊技球の入球に基づいて第 2 変動表示ゲームを実行可能であり、前記第 1 変動表示ゲーム又は前記第 2 変動表示ゲームのいずれを実行した場合でも前記表示装置に飾り特図変動表示ゲームを表示可能である。

【手続補正 5】
【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明の一形態によれば、遊技の興趣を向上することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

10

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 始動領域又は第 2 始動領域への遊技球の入球に基づいて、変動表示ゲームを表示装置に表示可能な演出制御手段を備えた遊技機において、

前記第 1 始動領域への遊技球の入球が推奨される第 1 遊技状態と、前記第 2 始動領域への遊技球の入球が推奨される第 2 遊技状態と、を発生可能であり、

前記演出制御手段は、

前記第 1 始動領域への遊技球の入球に基づいて第 1 変動表示ゲームを実行可能であるとともに、前記第 2 始動領域への遊技球の入球に基づいて第 2 変動表示ゲームを実行可能であり、

20

前記第 1 変動表示ゲーム又は前記第 2 変動表示ゲームのいずれを実行した場合でも前記表示装置に飾り特図変動表示ゲームを表示可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記演出制御手段は、

前記第 1 遊技状態において前記第 1 変動表示ゲームを実行するときに当該第 1 変動表示ゲームに対応する前記飾り特図変動表示ゲームを表示可能であり、

前記第 2 遊技状態において前記第 2 変動表示ゲームを実行するときに当該第 2 変動表示ゲームに対応する前記飾り特図変動表示ゲームを表示可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

30

40

50